

腸の手術を受けられる

様へ (ID:) 担当医:

経過	入院日 (手術2日前)	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2~6日目	術後7~14日目	退院日
			手術前	手術後				
月/日	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
達成目標	1. 身体的、精神的に問題なく手術に臨める		2. 手術後の痛みがコントロールされる		3. 歩行できる	4. 術後合併症を起こすことなく過ごすことができる		
治療処置	●入院中は、毎日朝8時半に回診があります(処置が必要な患者さんのみ15時にも回診があります)	●お臍の掃除をします	●6時に浣腸をします ●手術衣に着替え、手術室に入ります(時間は変更になる場合があります)	●手術室で背中に痛み止めの管が入ってくることがあります ●手術室で尿の管を入れます ●手術室でお腹に管が入ってきます ●麻酔が覚めたら4階へ戻ります ●手術後心電図モニターをつけ、酸素吸入をします ●手術後、脚にマッサージの器械が着けられます	●脚のマッサージの器械を外します ●酸素が中止になります ●医師の指示により4階のICUを出て4階の一般病室へ移ります	●医師の指示により尿の管が抜けます ●医師の指示によりお腹の管が抜けます	●手術後の経過をみながら、医師から退院の許可が出ます ●退院の日には看護師長と相談し決めて下さい	
点滴	●基本的に点滴はありません		●午後の手術の場合朝から点滴を開始します		●医師の指示により点滴を行います			
内服薬	●就寝前に下剤を飲みます	●朝食後に下剤を飲みます ●昼食後と就寝前に抗菌薬を飲みます ●眠れない時は安定剤を飲むことができます	●手術前の内服薬は医師・看護師の指示に従って下さい	●手術後は絶飲食のため内服できません	●内服薬が徐々に再開になります。医師・看護師の指示に従って下さい ●痛みが強い時は我慢せず声をかけて下さい。痛み止めをご用意できます			
検査		●レントゲン・採血			●レントゲン・採血など適宜行います			
食事	●食事は低残渣食が出ます	●食べ物は食べないで下さい ●水分は飲んで結構です	●6時から水分も摂らないようにして下さい	●手術後は絶飲食です	●朝から水分が摂れるようになります	●術後2日目の昼から重湯が始まりますその後、5分粥・全粥・米飯食へ順次変更されます		
活動	●安静度は自由です			●手術後はベッド上安静です	●合併症予防のためとんどんリハビリをしましょう			
清潔	●手術前は必ず入浴します	●手術前日は必ず入浴します	●手術前に歯磨き・洗面などを済ませて下さい。化粧や整髪剤は使用しないで下さい		●清拭・洗髪・足浴を行います	●お腹の管が抜けた翌日からシャワー浴ができます		
説明	●入院生活について説明します	●医師から手術の説明があります ●麻酔科医、手術室看護師の訪問があります		●手術終了後、ご家族に医師から説明があります。手術中は病棟を離れないようにお願いします	●リハビリテーションについて説明します	●必要に応じて薬剤指導を行います	●医師から術後の説明があります	
備考	●手術用の必要物品をそろえ、名前を書いて下さい		●眼鏡・コンタクト・貴金属類・義歯は全て外して下さい	●手術中継を希望されるご家族は病棟のモニターにて見学できます				

入院期間・記載内容については現時点で予想されるものです。症状により変更されることがあります。

担当看護師:

患者・家族: